

笑顔あふれる学校づくり

ア) いじめの未然防止・不登校の子どもへの支援について

◆不登校児童生徒数の推移

対策の効果で着実に減少！

◆千人あたりの不登校児童生徒数

平成27年度 (人)

	小学校	中学校
福岡市	1.7	21.2
全国	4.2	28.3
比較	-2.5	-7.1

全国に比べ低水準を維持！

◆いじめの認知件数の推移

SOSをしっかりと、キャッチ！早期対応！

◆SSW相談件数の推移

福祉面も含めた支援の要望に細やかに対応

【参考】平成27年度 ◆小中学校の児童生徒千人あたりの不登校児童生徒数 福岡市 7.9人、全国 12.6人 ◆小中学校の児童生徒千人あたりのいじめの認知件数 福岡市 0.6件、全国 21.0件

いじめ・不登校対策

- ◆スクールカウンセラー(SC)を中学校、高等学校、特別支援学校に配置(73校)
- ◆Q-Uアンケートを小4～中3まで実施(H27年度～)
- ◆スクールソーシャルワーカー(SSW)を配置(25名)
- ◆NPOと共働で保護者を支援(不登校よりそいネット事業)
- ◆不登校対応教員を配置(24校)
- ◆子どもたちを守る学校ネットパトロール(H26年8月～)
- ◆子どもたちが企画するいじめゼロプロジェクト



- ・児童会、生徒会が中心となり、いじめ根絶に向けた取組
- ・毎月10日「いじめゼロの日」「いじめゼロ宣言」に基づく学校の取組
- ・小中学校の代表児童生徒が「いじめゼロサミット」を企画

- ・非公式サイト等を検索・監視
- ・ホームページで情報提供や相談窓口を開設



成果指標

指標名	目標値(H30)
不登校児童生徒数	822人

平成20年、1,264名の35%減を平成30年までに目指します。

指標名	目標値
いじめの未解消件数	0件

いじめを早期発見、即対応し、素早く解消します。

イ) 専門家による学校支援体制について

学校が対応に苦慮する事案

- ・いじめ、虐待などから、子どもを守り、安心できる生活

チーム学校としての体制の充実

- ◆SC(臨床心理士)
- ◆SSW(社会福祉士)
- ◆SSC(社会福祉士)
- ◆スクールサポーター(警察OB)
- ◆スクールガードリーダー(警察OB、警備会社社員)

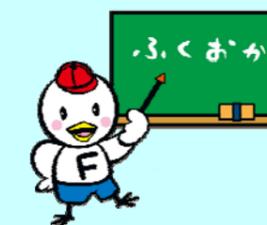
※()内は資格等

基本的な生活習慣や学力向上を充実させる取組

◆スクールソーシャルコーディネーター(SSC)事業(H28年度～)

教育相談課に3名(社会福祉士)配置

- 学力向上や基本的な生活習慣の定着を支援
 - ・居場所や食などの支援を提供する場所と児童生徒をむすぶ
 - ・「ふれあい学び舎事業」「地域学び場応援事業」との連携
 - ・こども未来局や保健福祉局等の関係局や地域、NPOが行う支援事業と連携



子どもたち一人ひとりの進路実現を支援し、将来の社会的自立を目指す